

2026(令和8)年10月22日(木)9:30～12:00
中央教育審議会初等中等教育分科会
教員養成部会(第164回)

教員養成と研修における 大学通信教育の質と量 社会人教員の促進課題を中心に

高橋 陽一

公益財団法人私立大学通信教育協会 理事長
(武蔵野美術大学造形学部 教授)

この報告内容は、協会と各情報提供大学等により整理したデータや意見に基づいていますが、共通の見解を示すものではなく、とくに分析や提言などは報告者の責任により、まとめています。

大学通信教育の教員養成の質保証

大学通信教育は、**幅広い種別・校種・教科等**にわたって**課程認定**をうけている。これを基盤として、**現職教諭の免許状の上進、別校種・別教科の追加**などの研修にも十分な質で対応している。今後の**多様な社会人の教員参入の促進**には、この**増強**が社会的に必要である。

大学通信教育で課程認定を受けた免許状 2026(令和8)年度現在

区分	種別・校種		教科等区分（学校数）
大学	1種免	特別支援学校	視覚障害者(1)、聴覚障害者(1)、知的障害者(6)、肢体不自由者(6)、病弱者(6)
	2種免		視覚障害者(1)、聴覚障害者(1)、知的障害者(4)、肢体不自由者(4)、病弱者(4)
	1種免	高等学校	国語(7)、地歴(9)、公民(10)、書道(2)、美術(2)、工芸(2)、中国語(1)、保健(1)、保体(1)、家庭(1)、商業(4)、英語(8)、宗教(1)、数学(5)、情報(5)、福祉(3)、音楽(1)
	1種免	中学校	国語(7)、社会(9)、美術(2)、中国語(1)、保健(1)、保体(1)、家庭(1)、英語(8)、宗教(1)、数学(5)、音楽(1)
	2種免		国語(4)、社会(6)、中国語(1)、保体(1)、英語(6)、宗教(1)、数学(4)
	1種免	小学校	教科等区分共通（1種免12、2種免8）
	2種免		
	1種免	幼稚園	教科等区分共通（1種免12、2種免7）
	2種免		
		養護教諭	教科等区分共通（3）
		司書教諭	講習実施（10）
大学院	専修免	特別支援学校	知的障害者(1)
		高等学校	国語(1)、地歴(2)、公民(2)、中国語(1)、英語(2)、宗教(1)、情報(1)、福祉(1)、数学(1)
		中学校	国語(1)、社会(2)、中国語(1)、英語(2)、宗教(1)、数学(1)
		小学校	教科等区分共通（4）
		幼稚園	教科等区分共通（4）
		司書教諭	講習実施（1）
短期大学	2種免	幼稚園	教科等区分共通（4）
		司書教諭	講習実施（1）

四年制通信大学の
二種免認定は、
のべ52校・免許種

大学通信教育の教員養成の量

大学通信教育は、社会人のためのルートとしての位置は、**最大規模**である。

回答24校(17大学、4大学院、3短大)。今回調査はこの報告依頼により9月28日から7日で実施したもので、該当33校に対して73%にとどまり、全数調査ではない。

2025通信 教職課程履修者 21,843人

正規の課程(学生) 17,131人
科目等履修生など 4,712人

* 5月現在や10月現在など基準日のゆれがある。

2025通信 免許状授与件数 9,213件

2024(令和6)年度の普通免許状授与件数179,389件対比は、5.1%。

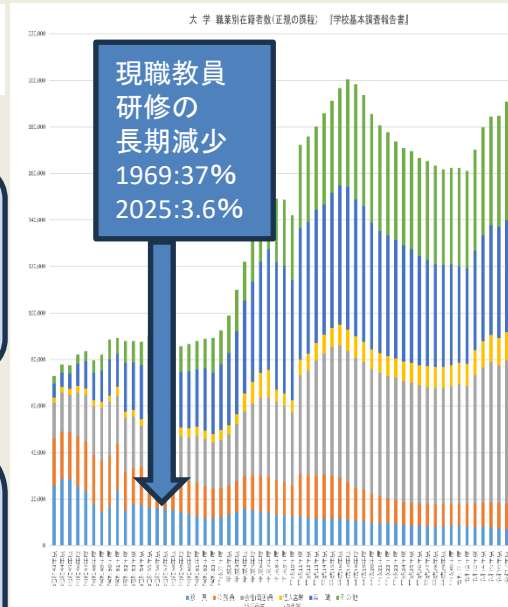
通信では一括申請が少なく、免許用履修証明書による個人申請が多く、現職教員研修など多様なケースがある。

大学による一括申請 2,099件
それ以外の免許用履修証明書発行件数 6,907件
それ以外の把握件数 207件

2025通信 教員就職者数 1,327人

大学把握人数 1,185人
「把握していない」大学の把握数142人

就職者数は大学でも教育委員会(通学制大学の最終学歴記載のみの書式など)でも通信教育課程就職者が把握できないのが多数。

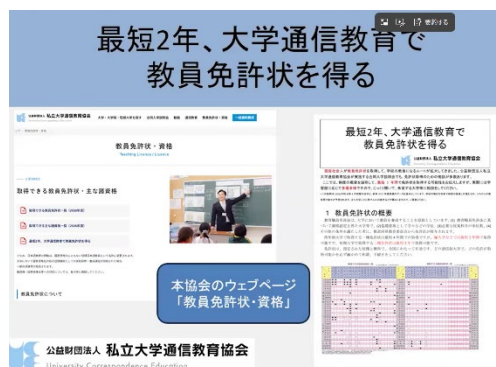


1950(昭和25)年の大学通信教育の開始から、教員養成と**現職教員の研修**は大きな比重を占めている。しかし多忙な教員の状況から、大学学部
の正規課程学生に教員を占める人数は、最大値の1969(昭和44)年度の2万8738人(全体比37%)から、**2025(令和7)年度の7000人(3.6%)**となった。
出典:学校基本調査報告書⁴

大学通信教育での現在の取り組み

①「最短2年で教員免許」の広報活動

2026年から再就職支援を行う団体や行政機関と連携して再就職先としての教員免許取得の連携をウェブページなどでの展開。



現在の学習歴など			取得免許		通信教育課程			
学歴等	学位	その他	免許状	基礎資格	区分	学籍	卒業	備忘
①四大卒業	学士	既卒学部等は問わない。 教職関連の既修得単位があれば有利=教員免許申請用の単位証明書※必要。	普通免許状	学士	大学 四年制	3年次編入学	不要	＊二種免認定大学の場合、少ない単位数で二種免許取得の可能性あり。
②四大中退	なし	3年次編入は二年以上在学と62単位が必須。編入学審査を受ける。		学士 (新たに必要)		3年次編入学	必要	
③専門学校卒	なし	大学編入学が認められた課程である証明が必要。		学士 (新たに必要)		3年次編入学	必要	
④短大卒業	短期大学士	既卒学科等は問わない。 教職関連の既修得単位があれば有利=教員免許申請用の単位証明書※必要。		学士 (新たに必要)		3年次編入学	必要	
⑤高等学校卒業	なし		普通免許状	短期大学士	短期大学	1年次入学 (既修得単位あり)	不要	
			二種	短期大学士 (新たに必要)	短期大学	1年次入学	必要	

※学力に関する証明書

②地方大学等との連携協力による教員免許状取得支援

通学制大学と協定を結び、地方の教員養成を量と質で維持するために、単位取り残しや卒業後の免許取得などを細やかに支援。

③「どこでも」学ぶ、地方移住者の教員免許状取得支援

地方の教員養成を量と質で維持するために、単位取り残しや卒業後の免許取得などの細やかな支援。2026年9月に公益社団法人ふるさと回帰・移住交流推進機構と協定締結。

社会人教員養成の改善項目

社会人の教員養成は、大学における開放制教員養成の原則における**質保証**を前提として、実績のある**大学通信教育**を基軸に展開することが効果的である。

① **メディア授業・遠隔授業**の本格的活用

多忙な社会人は、**自宅や職場で学ぶ**ことを求めている。

フルタイム雇用の社会人が計画的に教員免許を取得するケースを前提に、可能な科目を通信授業（印刷教材等による授業）とメディア授業・遠隔授業で自宅・職場で取得できるように改善する。模擬授業などは、課題添削やオンライン指導を活かして実践的指導力を伸長する努力が必要である。このため、**一律に対面指導（面接授業）を必須としない**ことが大切である。

② 充実した**印刷教材等**への配慮

充実した教科書などの印刷教材は、**自宅や職場で学ぶ**社会人の重要なよりどころである。

今回は法令上必須となる内容やコアカリキュラムで求める事項等が増大する傾向にあるため、**教科書などの新規作成・増補改訂**が必須となるが、書籍刊行には2年程度が必要となる。このための配慮が必要である。

③ 教育実習と介護等体験の**日数**への改善

多忙な社会人は、**長期に有給休暇を取る困難**に直面している。

多様な経験を有する社会人学生に対して、通学課程のフルタイム学生を前提とした長期の教育実習や介護等体験の見直しは必要である。

④ 通信教育課程の**特性**への配慮

多くの学生を教員が責任をもって担当する体制が、**規模も方式も、通学課程と異なる**ことに理解が必要である。

（要望例）教職課程認定基準（令和8年5月28日改正）の教職専任教員の要件について、1年間につき3科目以上の授業科目を担当することが求められるが、1科目多人数担当など、通信教育課程における教職課程の編成や運営の特徴を踏まえてほしい。

